

★ 行健中学校だより



校長室の窓から ～雨にも負けず～ 校長 齋藤正徳

雨にも負けず 宮沢賢治

雨にも負けず／風にも負けず
 雪にも夏の暑さにも負けぬ／丈夫な身体を持ち
 欲はなく／決して怒らず
 いつも静かに笑っている／一日に玄米四合と
 味噌と少しの野菜を食べ／あらゆることを
 自分の勘定を入れずに／よく見聞きし分かり
 そして忘れず／野原の松の木の影の
 小さな茅葺きの小屋にいて
 東に病気の子もあれば／行って看病してやり
 西に疲れた母あれば／行って稲の束を負い
 南に死にそうな人あれば
 行ってこわがらなくてもいいといい
 北に喧嘩や訴訟があれば
 つまらないからやめるといい
 日照りの夏は／おろおろ歩き
 みんなにでくのぼーと呼ばれ
 褒められもせず／苦にもされず
 そういふものに／わたしはなりたい

最近、この作品を俳優の渡辺謙が朗読し多くの人々に共感を得ているようだ。

ある方の文に次のようなことが書いてあった。



人間というものは、死というものが身近になった瞬間、初めて生というものの尊さを実感として受け止められるのだと思う。

賢治の作品がこれほど愛されているのは、彼の紡ぎ出す一語一語が、他人や世間に「こうしろ」「ああしろ」などとおこがましいことは一切言わずに、「そういうものにわたしはなりたい」として、あくまで「一人称」(自分の問題)として語る賢治の優しさと謙虚さにあるのではないかということである。このようにして、賢治個人の「諦め」は、一種の悟りの心境にまで変化を遂げ、ついには単なる諦めが「諦念」となり、人間精神のもっとも美しい心境を描いた「雨にも負けず・・・」の詩文として結晶したのではあるまいか。

宮沢賢治が生まれた年、そして亡くなった年、それぞれに三陸地方に大きな地震が起こり津波も発生したと記録に残っている。それが、現在私たちが置かれている状況とも重なるからであろうか。改めて、読み返してみたい。我が身のことでなく周囲を気遣う賢治の優しさを。

あまりにも有名な宮沢賢治の作品。(※原文は漢字仮名混り表記)
 この作品は、昭和6年11月に夢を抱いて上京した賢治が、急に遺書を書くほどの病で倒れ、花巻に戻って病床で書き綴った中であつたものである。病に倒れた賢治の心情が表され、健康であることへの望みが伝わってくるようである。



授業開始(やり残し解消から)

2, 3年生は今週早々に授業が本格的に始まりました。昨年度末、震災のため1週間、臨時休校となりました。今週は、臨時休校のためにできなかった分の学習内容を授業で行っています。どのクラスも、授業に真剣に集中して取り組んでいます。来週前半には、やり残しをすべて解消し、新しい学年の授業内容に入る予定です。来週まで学年時間割となりますが、25日(月)から正式な時間割での授業が始まります。



屋内での部活動再開 避難訓練(地震)実施

震災後市内一斉に中止となっていた部活動を、18日(月)から再開します。生徒の安全を最大限に考慮し、校庭での部活動は当面行いません。全ての部活について体育館等、屋内で活動します。体育館は休日も含めて、ローテーションで部活を行います。体育館割り当ての詳細は本校ホームページに掲載しますのでご覧ください。

12日、第1回の避難訓練を実施しました。実施に際しては、従来の避難方法、避難経路を再点検し、地震の際に、より安全、迅速に避難できるようにしました。訓練時だけでなく、常日頃、地震等の災害に対する警戒を怠らず、万が一の際の生徒の安全確保に万全を期していきたいと思ひます。

来週から4月中はお弁当持参です。給食センター完全復旧まで、5月：給食、6月：弁当、7月：給食の予定となっています。

交通安全指導



今週1週間、登校時間に交通安全指導を行いました。新しい学期が始まるこの機に、改めて交通安全の意識を高め、交通ルール、交通マナーを身につけることにより、交通事故防止の徹底を図っていきたく思います。自転車通生徒を対象に、自転車安全点検も行いました。

【来週の予定】

- 18日(月) 学年授業5限：B案
○第1回生徒会専門委員会
- 19日(火) 学年授業5限：B案
- 20日(水) 学年授業5限：B案
○交通安全・情報モラル教室
(3・4校時)
- 21日(木) 学年授業5限：B案
- 22日(金) 学年授業5限：B案

- ◎来週は **弁当持参**
- ◎18日(月)から部活動開始
- ◎2・3年最終下校時刻 18:00
- ◎1年生最終下校時刻 17:00